

日本BS放送株式会社

2026年8月期 第2四半期

(決算補足説明資料)

2026年4月9日



証券コード: 9414

I	決算概況	P2
II	重点実施事項トピックス	P10
III	通期計画	P16
IV	(ご参考)会社概要	P20

I 決算概況



2026年8月期 第2四半期（連結）

売上高 **5,834百万円**（前年同期比 0.9%減↓）

営業利益 **849百万円**（前年同期比26.7%減↓）

2026年8月期 第2四半期（個別）

売上高 **5,499百万円**（前年同期比 0.6%減↓）

営業利益 **882百万円**（前年同期比26.0%減↓）

売上高は**5,834**百万円（前年同期比0.9%減）、営業利益は**849**百万円（前年同期比26.7%減）、
親会社株主に帰属する中間純利益は**596**百万円（前年同期比25.7%減）

（単位：百万円、下段は売上比）

	2025年8月期 第2四半期 累計	2026年8月期 第2四半期累計						主な増減要因(前年同期比)
		実績	前年同期比	増減額	計画	計画比	増減額	
売上高	5,889 (100.0%)	5,834 (100.0%)	△0.9%	△55	6,079 (100.0%)	△4.0%	△244	(売上高) ・放送事業収入 …△177百万円 ・その他収入…+143百万円 ・その他収入(子会社) …△20百万円 (売上原価) ・番組購入費…△47百万円 ・番組制作費…+320百万円 ・減価償却費…△42百万円 (販管費) ・広告宣伝費…+51百万円
売上原価	2,942 (50.0%)	3,169 (54.3%)	7.7%	226	—	—	—	
売上総利益	2,947 (50.0%)	2,665 (45.7%)	△9.6%	△282	—	—	—	
販管費	1,788 (30.4%)	1,816 (31.1%)	1.5%	27	—	—	—	
営業利益	1,159 (19.7%)	849 (14.6%)	△26.7%	△309	830 (13.7%)	2.3%	19	
経常利益	1,174 (19.9%)	876 (15.0%)	△25.3%	△297	858 (14.1%)	2.2%	18	
親会社株主に帰属 する中間純利益	801 (13.6%)	596 (10.2%)	△25.7%	△205	576 (9.5%)	3.5%	20	

貸借対照表/キャッシュ・フロー計算書の概要（連結）

貸借対照表

(単位:百万円、下段は構成比)

		2025年8月期末	2026年8月期	
			第2四半期末	前年増減額
流動資産		17,223 (64.0%)	16,999 (64.0%)	△223
	固定資産	9,675 (36.0%)	9,543 (36.0%)	△131
資産合計		26,898 (100.0%)	26,543 (100.0%)	△355
流動負債		2,342 (8.7%)	1,925 (7.2%)	△417
	固定負債	129 (0.5%)	130 (0.5%)	0
負債合計		2,472 (9.2%)	2,055 (7.7%)	△416
純資産合計		24,426 (90.8%)	24,487 (92.3%)	61
負債・純資産合計		26,898 (100.0%)	26,543 (100.0%)	△355

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	2025年8月期 第2四半期累計	2026年8月期 第2四半期累計
営業キャッシュ・フロー	993	527
税金等調整前中間純利益	1,174	876
減価償却費	235	190
売上債権の増減額(△は増加)	325	175
仕入債務の増減額(△は減少)	△71	△101
未払金の増減額(△は減少)	△84	△80
未払費用の増減額(△は減少)	△31	△79
未払消費税等の増減額(△は減少)	△145	△72
法人税等の支払額	△346	△349
投資キャッシュ・フロー	△2,006	1,057
定期預金の預入による支出	△1,000	—
定期預金の払戻による収入	—	1,000
有価証券の償還による収入	—	100
投資有価証券の取得による支出	△995	—
財務キャッシュ・フロー	△535	△514
配当金の支払額	△534	△534
現金及び現金同等物の増減額	△1,547	1,069
現金及び現金同等物の期首残高	6,152	2,988
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,604	4,057

売上高は**5,499**百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益は**882**百万円（前年同期比26.0%減）、
中間純利益は**630**百万円（前年同期比24.6%減）

（単位：百万円、下段は売上比）

	2025年8月期 第2四半期 累計	2026年8月期 第2四半期累計						
		実績	前年同期比	増減額	計画	計画比	増減額	主な変動要因（前年同期比）
売上高	5,534 (100.%)	5,499 (100.0%)	△0.6%	△34	5,751 (100.0%)	△4.4%	△251	・タイム収入の減少・・・△135百万円 ・スポット収入の減少・・・△42百万円 ・その他収入の増加・・・+143百万円
売上原価	2,735 (49.4%)	2,987 (54.3%)	9.2%	252	—	—	—	(段階利益) 売上原価の増加
売上総利益	2,799 (50.6%)	2,511 (45.7%)	△10.3%	△287	—	—	—	
販管費	1,606 (29.0%)	1,629 (29.6%)	1.4%	23	—	—	—	<<利益減少の具体的要因>> 【売上原価】 ・放送事業収入の最大化及びその他 事業収入の拡大に向けたコンテンツ への投資推進
営業利益	1,192 (21.6%)	882 (16.0%)	△26.0%	△310	888 (15.5%)	△0.8%	△6	【販管費】 ・視聴者接点拡大のための新聞・ WEB広告を中心とした宣伝活動の 強化
経常利益	1,208 (21.8%)	911 (16.6%)	△24.6%	△297	914 (15.9%)	△0.4%	△3	
中間純利益	836 (15.1%)	630 (11.5%)	△24.6%	△205	632 (11.0%)	△0.4%	△2	

	2025年8月期 第2四半期累計	2026年8月期 第2四半期累計					
		実績	前年同期比	増減額	計画	計画比	増減額
売上高	5,534 (100.0%)	5,499 (100.0%)	△0.6%	△34	5,751 (100.0%)	△4.4%	△251
タイム収入	4,010 (72.5%)	3,875 (70.5%)	△3.4%	△135	4,091 (71.2%)	△5.3%	△215
スポット収入	1,109 (20.1%)	1,067 (19.4%)	△3.8%	△42	1,139 (19.8%)	△6.3%	△71
その他	413 (7.5%)	556 (10.1%)	34.6%	143	520 (9.0%)	7.0%	36

主な増減要因(前年対比)

- **タイム収入**
引き続き公営競技が好調も、ショッピングカテゴリーの売上が伸び悩み、前年同期比△3.4%
- **スポット収入**
純広スポットは増加基調を維持するも、通販スポットの売上減により、前年同期比△3.8%
- **その他**
アニメ制作委員会からの出資配当収入が好調だったほか、オリジナル配信プラットフォーム「BS11+」やTVer等の配信事業収入も引き続き堅調に推移し、前年同期比+34.6%

主要費用項目実績（個別）

	2025年8月期 第2四半期累計	2026年8月期 第2四半期累計			
		実績	前年同期比	前年増減額	主要な増減要因
番組関連費用(原価)	1,682 (30.4%)	1,955 (35.6%)	16.3%	273	
番組購入費	194 (3.5%)	146 (2.7%)	△24.4%	△47	・ドラマコンテンツの編成戦略の一環として 行った調達コンテンツの見直しによる費用減
番組制作費	1,487 (26.9%)	1,808 (32.9%)	21.6%	320	・既存コンテンツの強化及び新規コンテンツの開発 ・IPを起点としたコンテンツの運用・開発 ・良質なアニメコンテンツの確保
放送関連費用(原価)	274 (5.0%)	265 (4.8%)	△3.5%	△9	
放送委託費	243 (4.4%)	235 (4.3%)	△3.5%	△8	
技術費	31 (0.6%)	30 (0.5%)	△3.0%	△0	
広告関連費用(販管費)	327 (5.9%)	374 (6.8%)	14.3%	47	
広告宣伝費	301 (5.5%)	348 (6.3%)	15.6%	47	・視聴者接点の拡大に向けた新聞・WEB広告を 中心とした宣伝活動の強化
販売促進費	26 (0.5%)	26 (0.5%)	-%	-	

貸借対照表の概要（個別）

		2025年8月期末	2026年8月期		
			第2四半期末	前年増減額	主な増減要因
流動資産	流動資産	16,725 (63.3%)	16,615 (63.5%)	△110	
	固定資産	9,681 (36.7%)	9,550 (36.5%)	△131	・機械装置減価償却累計額の増加 △117百万円
資産合計		26,407 (100.0%)	26,166 (100.0%)	△241	
流動負債	流動負債	1,912 (7.2%)	1,573 (6.0%)	△339	・買掛金の減少 △85百万円 ・未払消費税等の減少 △70百万円 ・未払費用の減少 △79百万円
	固定負債	128 (0.5%)	129 (0.5%)	1	
負債合計		2,040 (7.7%)	1,703 (6.5%)	△337	
純資産合計		24,366 (92.3%)	24,462 (93.5%)	96	・利益剰余金の増加 +96百万円
負債・純資産合計		26,407 (100.0%)	26,166 (100.0%)	△241	

Ⅱ 重点実施事項トピックス



Value

I. 放送事業収入の最大化

タイムテーブルの戦略的強化、視聴者ニーズの分析徹底

Value

II. 独自IPコンテンツの開発加速

IPの積極活用による多面的な事業展開、コラボレーション施策の推進

Value

III. アニメビジネスの収益基盤拡充

良質なアニメコンテンツの確保、新規事業の推進

Value

IV. 企業価値向上のための戦略的投資

新たな領域への投資機会の追求、持続的成長を実現する環境構築

Value

I. 放送事業収入の最大化、II. 独自IPコンテンツの開発加速

➤ IPコンテンツの開発・多面的展開、コラボレーション施策推進



制作著作：BS11/東京コンテンツラボ
©雨上がりのスカイツリー制作委員会



国土社刊行の児童書を原作としたドラマ『雨上がりのスカイツリー』
2月より国内最大級の配信プラットフォームU-NEXTにて、先行独占配信中。

➤ コラボレーション施策推進

地方局との共同制作による地域性を活かしたコンテンツの創出



『冬の京都2026〜財前直見が行く食と歴史の都〜』



『京都紅葉生中継2025
心とレンズに刻む絶景』

➤ 既存コンテンツの強化、新規コンテンツの開発促進

レギュラー番組の拡大版や特別番組を含む年末年始の特別編成によるコンテンツ価値の向上



中国時代劇・中国ドラマ



© HS Entertainment Group Incorporated

韓国ドラマ



© STUDIO DRAGON CORPORATION

名作時代劇



©ABCTV/松竹

国内サスペンス



©松竹

Value

I. 放送事業収入の最大化、II. 独自IPコンテンツの開発加速、III. アニメビジネスの収益基盤拡充

➤ 良質なアニメコンテンツの確保

1月クールも約40タイトルのアニメ関連番組を放送



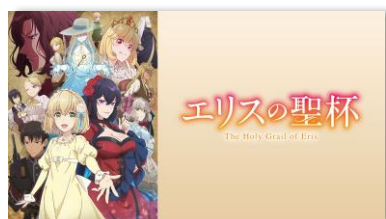
©経団連・TYPE-MOON/KADOKAWA/FSPC



©SUNRISE



©2024 八月八・大橋キカ/KADOKAWA/「異世界の沙汰は社畜次第」製作委員会



©監督(しら・ドリコム)/エリスの聖杯製作委員会

➤ アニメ作品の価値最大化に向けた取組みの推進



「BS11×KOTOBUKIYA コトブキヤくじ」

BS11にて放送するアニメの世界観やキャラクターの魅力、壽屋の企画開発力を通じて、魅力的なオリジナルグッズとしてお届け。



「アニメロサマーライブ2025 “ThanXX!” powered by Anison Days」

幅広いアニメファンとの接点をつくるべく、今回も世界最大のアニソンライブイベント アニメロサマーライブをBS11独占で元日に一挙放送。

➤ 配信プラットフォーム「BS11+」の魅力向上



人気男性声優 浦和希さんと戸谷菊之介さんによるトーク番組『浦和希・戸谷菊之介の本番はじめます!』や、人気インフルエンサー おおしましゅんさんによるバラエティ番組『おおしましゅんの今がしゅんです!』等、配信オリジナルコンテンツも制作。

➤ イベント事業の推進



人気番組『太田和彦のふらり旅 新・居酒屋百選』の冠イベントや、「BS11+プレミアム」限定の配信コンテンツ『石見舞葉香・長谷川育美のふたりば』のトークイベント等、コンテンツのIPを起点としたイベントを実施。

Value

I. 放送事業収入の最大化、II. 独自IPコンテンツの開発加速

➤ゴルフコンテンツの強化



『飯島茜のアカネ式！大学女子ゴルフ部』

毎週日曜 午後5時30分～6時00分

女子プロゴルファーの飯島茜さんが、大学ゴルフ部女子選手の悩みを“アカネ式”レッスンで解決するゴルフ番組。



NEW



『マイナビ ネクストヒロインゴルフツアー 2026』

不定期放送

若手女子ゴルファーの登竜門「マイナビネクストヒロインゴルフツアー」。優勝を手にし、次世代の”ネクストヒロイン”となるのは？年間18試合(予定)の熱戦の模様をお届け。

➤ドラマコンテンツも継続的に強化

人気の名作時代劇を拡充



©東映

名作時代劇

『名奉行 遠山の金さん』

毎週月～木曜 午後3時59分～5時00分

主演 松方弘樹さんの大人気シリーズ。町奉行の遠山金四郎が町人を装い江戸の町を駆け回りながら、数々の事件を解決していく勧善懲悪の人気時代劇。

➤特別番組やスポーツコンテンツも充実



制作著作：BS11・東京コンテンツラボ
©雨上がりのスカイツリー制作委員会



©Mokko Kobayashi



韓国ドラマ



Licensed by KBS Media Ltd. © 2022 KBS. All rights reserved.

中国時代劇



© 2011 上海唐人電影製作有限公司 All Rights Reserved
提供: アジア・リンク・エンターテインメント

ヨーロッパミステリー



© ITV Studios Limited 202

Value

Ⅱ. 独自IPコンテンツの開発加速、Ⅲ. アニメビジネスの収益基盤拡充

➤ 良質なアニメコンテンツの確保

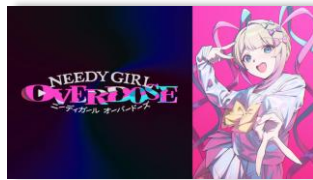
4月クールも人気シリーズから話題の新作まで約40タイトルのアニメ関連番組を放送



©川上泰樹・伏瀬・講談社/転スラ製作委員会



©藤(秋田書店)/上伊那ぼたん製作委員会



©WSS playground / NEEDY GIRL PROJECT



➤ アニメ作品 価値最大化に向けた取組みの推進



(株)壽屋との協業によるオンラインくじ企画をはじめ、BS11で放送したアニメ作品の価値向上に資する新たな取り組みを積極的に推進する。

➤ コンテンツのIPを起点としたイベント展開推進



『太田和彦のふらり旅 新・居酒屋百選』で過去に訪れた居酒屋で出演者の太田和彦さんと地酒や料理を楽しむイベントや、『偉人・敗北からの教訓』出演者の伊東潤さんと一緒に歴史を学べるツアー等、番組のファン基盤形成・拡大に向けた取組みを多数実施。

➤ 配信プラットフォーム「BS11+」の魅力向上



『宝塚カフェブレイク+(プラス)』

オリジナル配信プラットフォーム「BS11+」の会員プラン「BS11+プレミアム」コンテンツ第4弾。タカラジェンヌのインタビュー、Q&Aコーナーのノーカット版など、配信限定コンテンツならではの内容盛りだくさんでお届け。

Ⅲ 通期計画



売上高は12,576百万円(前期比6.5%増)、営業利益は1,804百万円(前期比6.6%減)、
親会社株主に帰属する当期純利益は1,306百万円(前期比2.9%減)を計画

(単位:百万円、下段は売上比)

	2025年8月期		2026年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			実績	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	5,889 (100.0%)	11,812 (100.0%)	5,834 (100.0%)	△0.9%	12,576 (100.0%)	6.5%	763
営業利益	1,159 (19.7%)	1,932 (16.4%)	849 (14.6%)	△26.7%	1,804 (14.3%)	△6.6%	△128
経常利益	1,174 (19.9%)	1,985 (16.8%)	876 (15.0%)	△25.3%	1,888 (15.0%)	△4.9%	△97
親会社株主に帰属 する当期純利益	801 (13.6%)	1,345 (11.4%)	596 (10.2%)	△25.7%	1,306 (10.4%)	△2.9%	△39

売上高は11,800百万円(前期比6.9%増)、営業利益は1,800百万円(前期比9.5%減)、
当期純利益は1,305百万円を計画(前期比7.7%減)

(単位:百万円、下段は売上比)

	2025年8月期		2026年8月期				
	第2四半期 累計	通期	第2四半期累計		通期計画		
			実績	前期比	計画	前期比	増減額
売上高	5,534 (100.0%)	11,039 (100.0%)	5,499 (100.0%)	△0.6%	11,800 (100.0%)	6.9%	760
タイム収入	4,010 (72.5%)	8,155 (73.9%)	3,875 (70.5%)	△3.4%	8,287 (70.2%)	1.6%	132
スポット収入	1,109 (20.1%)	2,038 (18.5%)	1,067 (19.4%)	△3.8%	2,263 (19.2%)	11.1%	225
その他	413 (7.5%)	845 (7.6%)	556 (10.1%)	34.6%	1,249 (10.6%)	47.7%	403
営業利益	1,192 (21.6%)	1,988 (18.0%)	882 (16.0%)	△26.0%	1,800 (15.3%)	△9.5%	△188
経常利益	1,208 (21.8%)	2,043 (18.5%)	911 (16.6%)	△24.6%	1,886 (16.0%)	△7.7%	△157
当期純利益	836 (15.1%)	1,413 (12.8%)	630 (11.5%)	△24.6%	1,305 (11.1%)	△7.7%	△108

2026年8月期は、期末配当金 30.0円を計画

配当方針について

- ・ 企業価値の向上や持続的な発展に向け成長を確保する一方で、株主等ステークホルダーの期待に応えられるよう、経営資源の適切な配分を行い、配当性向40%程度を基準として、株主還元の拡充を図っていく方針です。
- ・ 年1回の期末配当を行うことを基本とします。

年間配当金

※1株当たり当期純利益の数値は連結で表示しております。

	2019年 8月期	2020年 8月期	2021年 8月期	2022年 8月期	2023年 8月期	2024年 8月期	2025年 8月期	2026年 8月期 (予想)
年間配当	20.0 円	20.0円	20.0円	20.0円	26.0円	30.0円	30.0円	30.0円
1株当たり当期純利益	65.08 円	83.72円	104.83円	89.84円	77.85円	81.70円	75.51円	73.30円
配当性向	30.7%	23.9%	19.1%	22.3%	33.4%	36.7%	39.7%	40.9%

IV (ご参考)会社概要



会社概要

本社	東京都千代田区神田駿河台二丁目5番地
事業内容	全国無料のBSハイビジョン放送“BS11”チャンネルの運営
代表者	代表取締役会長 齋藤 知久 代表取締役社長 玉井 忠幸
設立	1999年8月
資本金	41億9,071万円（2025年8月31日現在）
従業員数	128名（連結）（2025年8月31日現在）

沿革

1999年 8月	株式会社ビックカメラにより、衛星放送の番組及び普及に関する調査研究を目的として設立
2000年12月	BSデジタルデータ放送開始
2004年 9月	東経110度CSデジタル放送開始
2007年12月	BSデジタルハイビジョン放送（BS11）開始
2010年 4月	一般社団法人日本民間放送連盟に入会
2010年11月	株式会社ジュピターテレコム（J:COM）において再送信開始
2011年10月	接触率調査（BSパワー調査）に参加
2014年 3月	東京証券取引所市場第2部へ上場
2015年 3月	東京証券取引所市場第1部へ上場
2018年 1月	理論社・国土社の株式を100%取得し完全子会社化
2022年 4月	東京証券取引所市場再編により、スタンダード市場へ移行

コーポレートガバナンスの基本的な考え方

当社は、国民共有の希少資源である電波を預かる放送事業者として公共的使命と社会的責任の重要性を深く認識しています。「質の高い情報を提供することで人々に感動を与え幸せな社会づくりに貢献します」という経営理念のもと、企業の持続的な成長と中長期的な企業価値向上を図るため、実効性のあるコーポレートガバナンスを実現してまいります。

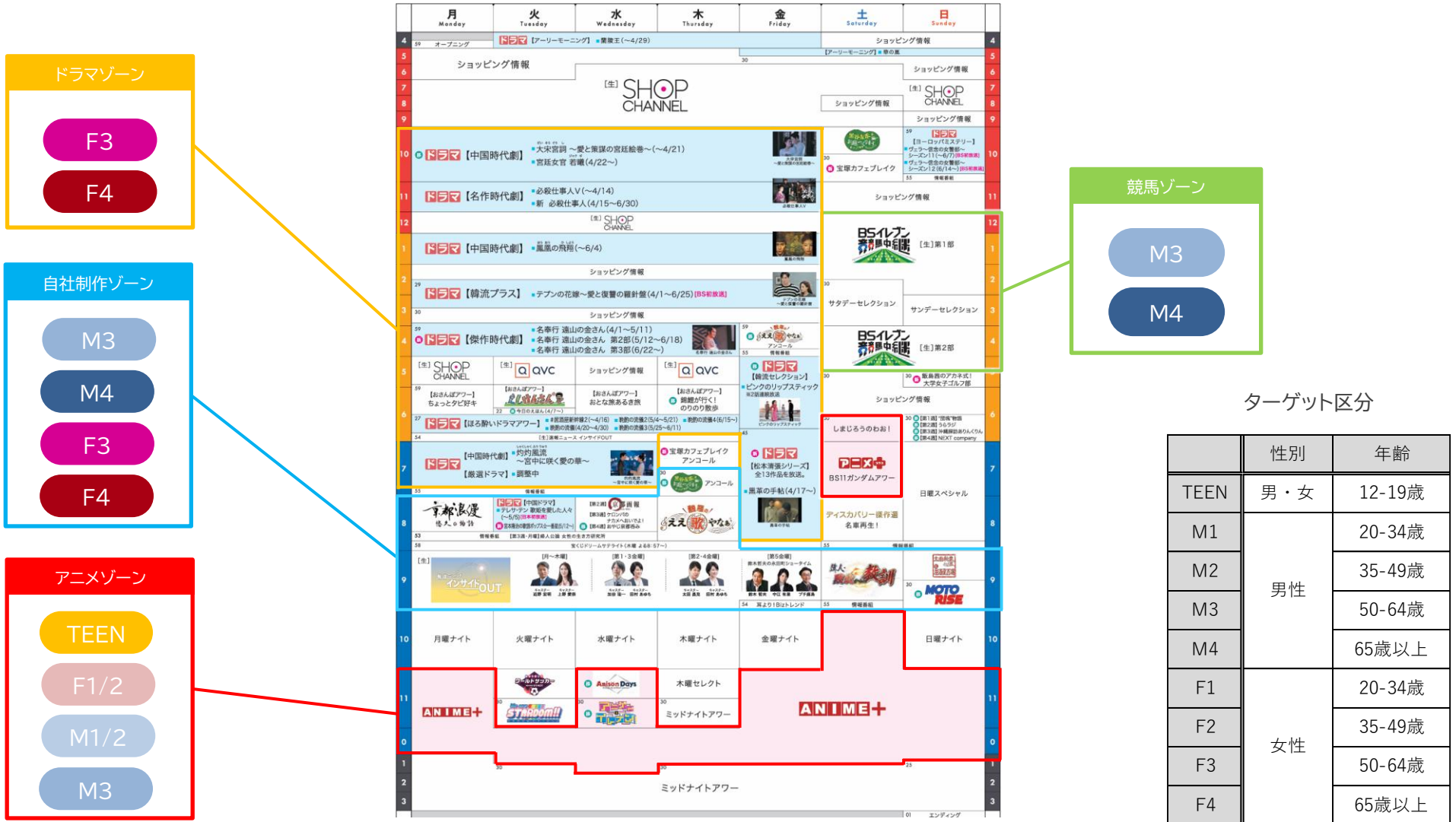
全国無料BS放送局

グループ会社	日本テレビ	テレビ朝日	TBS	テレビ東京	フジテレビ	ジャパネット	ビックカメラ	三井物産	JCOM	吉本興業	放送大学
放送局	BS日テレ	BS朝日	BS-TBS	BSテレ東	BSフジ	BS10	BS11	BS12	JCOM:BS	BSよしもと	BSキャンパスex BSキャンパスon
系列	地上波系列					独立系					公共
開局年月	2000年12月					2025年1月	2007年12月	2025年7月	2022年3月	2011年11月	
グループ	当社及び地上波系列BS5局の計6局は、“無料BS放送6局”として視聴状況調査を実施（～2020年3月）、共同で『メディアガイド』を作成するなどBS放送の価値向上に向けた取り組みを実施。										

BS11の特徴

- ①独立系だからこそ自由なコンテンツ制作・展開が可能！
- ②『ドラマ』・『アニメ』・『競馬』など多岐にわたるラインアップ編成により、幅広い年齢層の視聴者層が存在！
- ③家電量販店ビックカメラを親会社に持つため、番組・CMの放送等に加えて、消費者へのダイレクトなコンタクトポイントが持てる企画が可能！

BS11では曜日・時間帯ごとで視聴者ニーズに応える編成を実施
そのため、他民放BS局と比較しても**幅広い年齢の視聴者層**が存在する



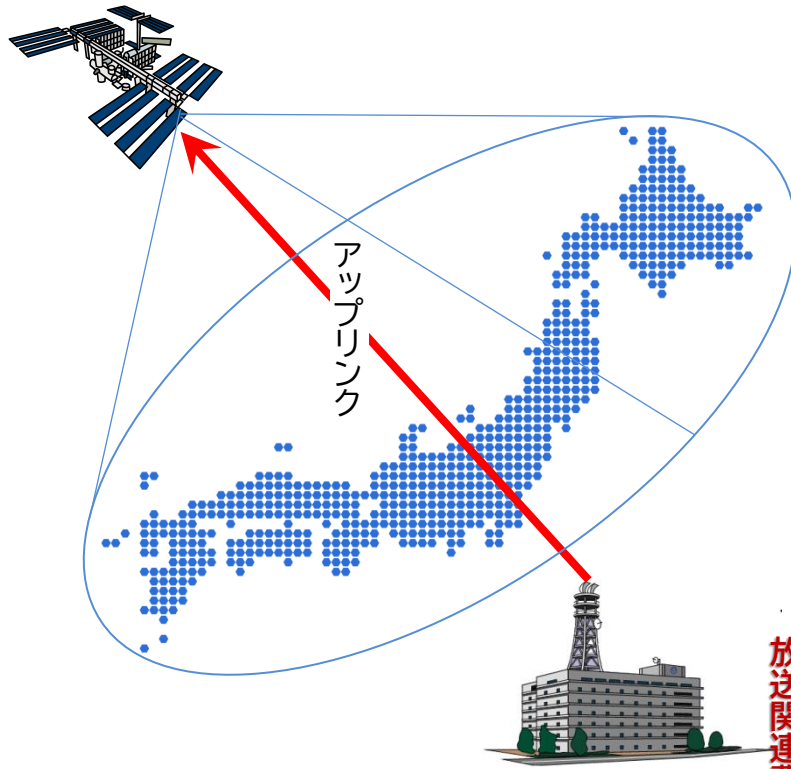
【地上波とは全く異なるコスト構造により高効率の広告ビジネスを実現】

◆地上波に比べ低コストでの放送 ⇒ 効率的な広告費で日本全国に放送可能

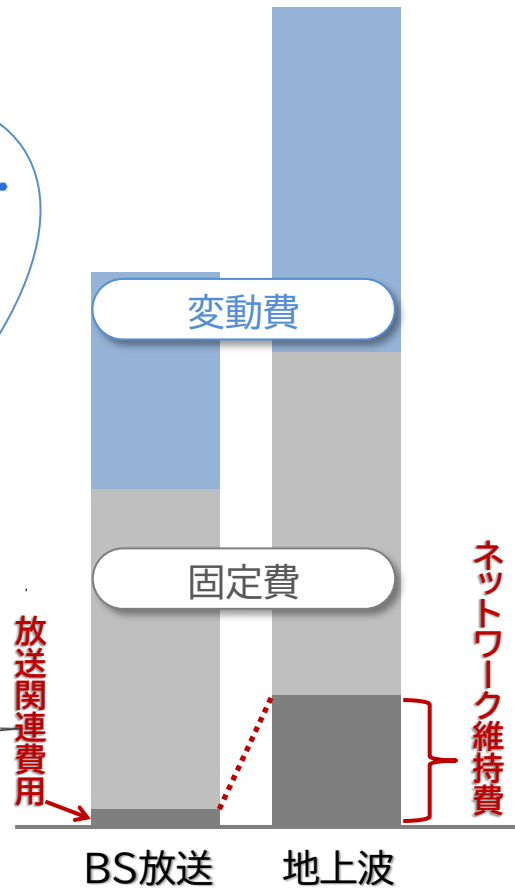
無料BS放送

コスト構造の比較

キー局系列の地上波放送



- ・日本全国に電波の送信が可能
- ・ネットワークの構築が不要



- ・少数チャンネル地域の存在
- ・嵩むネットワーク維持費

- ❑ 本資料は日本BS放送株式会社(以下、当社)の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。
- ❑ 本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。
- ❑ また経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

【本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先】

日本BS放送株式会社

経営企画局 経営企画部

TEL 03-3518-1900

URL <https://www.bs11.jp/>

